

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

三重大X

「えっくす」

CONTENTS

ホットNEWS

神宮再発見 ～式年遷宮の年を迎えて～

特集

おもしろ研究・先生Ⅸ

05

速報

文部科学省等支援プログラム

11

特集

学ぶ・育む プログラム「X」

13

気になるNEWS

15

スポット／クラブ・サークル

17

本の紹介

19

表彰

19

お知らせ

22

歴史街道シリーズ

26



vol. **29** 2013
WINTER



ホット
NEWS

神宮再発見

～式年遷宮の年を迎えて～

尊さに皆おしあひぬ御遷宮
松尾芭蕉

(遷宮式拝観のために諸国から詰めかけた無数の人々は、
式典の尊さに打たれ、みな押しあいながら拝んだことである。)

写真提供：神宮司庁

平成25年 「式年遷宮」の年

伊勢の神宮の社殿を造り替える20年に一度の大祭です。
正殿を始め御垣内の建物全てを建て替えし、
さらに殿内の御装束や神宝を新調して、御神体を新宮へ遷します。

式年遷宮の意味

社殿を造り替えること自体はどの神社でも社殿が老朽化すれば行われるものです。しかし、式年(決まった時期)かつ国家の費用で挙行される遷宮は、唯一、伊勢の神宮のみなのです。古来、式年遷宮にかかる費用は、全国の荘園に一齐に掛けられる税金でまかなっており、このような徴収制度(一国平均役)は、大嘗祭※など朝廷の行事の時のみ適用され、それほど神宮が天皇家の守護神という意味合いを持つ重要な神殿であることが分かります。

今年で第62回を迎える式年遷宮は、最も有力な学説によると持統天皇四年(690年)に遡ることができます。戦国時代に

は100年以上、遷宮が途絶えた時代もありますが、古代飛鳥時代より連綿と続けられている行事です。

遷宮を行う意味は諸説あり、神の威力を増大させるためや、木造建築の保存と技術の伝承のためでもあると言われています。また、神宮は、もともと天皇の祖先を祀る神社で、庶民の参詣は禁じられていましたが、平安中期になると国家守護の神社とみなされ、鎌倉時代には庶民も参詣するようになりました。遷宮は御木曳行事に代表されるように、まち全体を挙げての一大行事として地域住民にとって必然のものとなっていたのです。

※大嘗祭(おおいえのみつり)：天皇即位の後、初めて行う収穫祭

式年遷宮はなぜ 「20年」に一度なの？

神宮の遷宮は20年に1度という式年で行われています。この「20年」の根拠は諸説ありますが、興味深い由来として天武天皇の時代に採用された「太陰太陽暦」が挙げられます。中国から伝わったこの暦法は、19年に7回うるう月を挿入し、実際の太陽の動きに合わせます。ここでは、「19」という数字が「更新」や「全てを新しく」といった重要な意味合いをもちます。この時期に初めて、19年の式年で遷宮が行われるようになりました。江戸時代になると20年に1度の遷宮となりますが、従来の人間中心の考え方ではなく、太陽への信仰、つまり神にとって重要なタイミングを選択したというのは興味深い学説です。

式年遷宮主要行事(平成25年)

行事名	年月	趣旨
杵築祭 こつきさい	平成25年 9月	新宮の御柱の根元を固める祭り。
後鎮祭 ごちんさい	平成25年 9月	新宮の竣工をよこび、平安に守護あらんことを大宮地に坐す神に祈る祭り。
遷御 せんぎょ	平成25年10月	御神体を新宮に遷しまつる祭り。
奉幣 ほうへい	平成25年10月	遷御の翌日、新宮の大御前に勅使が幣帛(へいはく)※をたてまつる祭り。

※幣帛：神に奉獻するものの総称。
狭義には布帛の類をいう。

「19」という
数字が重要
だったのですね



人文学部・教授
山田 雄司
Yamada, Yuji

—ホットNEWS：神宮にまつわる3つの視点

教員特集 ① 伊勢のまちなみ保全再生

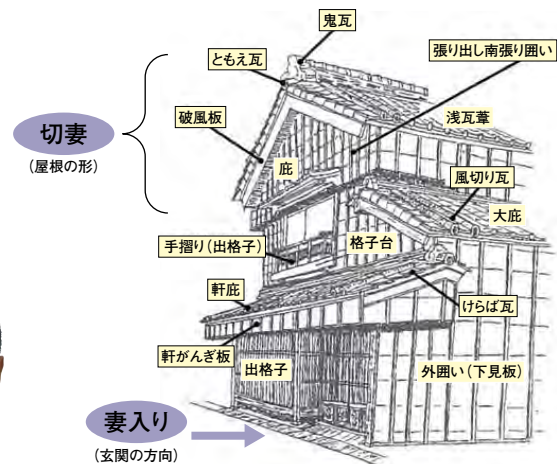
現在、内宮おはらい町への来訪者は年間約800万人にまで増えています。実は、まちなみ保全再生に取り組む前の昭和60年代には、約20万人にも落ち込み、活気を失った時代がありました。いまの賑わいは綿密な都市計画によるものなのです。

きりづま
「切妻、妻入り」のまちなみ

京都の町屋は、「切妻、平入り」が多いのに対して、伊勢では「切妻、妻入り」が多いのが特徴です。屋根の頂点に棟の稜線が1本通り、両側に屋根面が流れる形を切妻造りと言います。また、屋根の長辺側に出入口があるものを平入りと言い、屋根の短辺側に出入口があるものを妻入りと言います。こうした伝統的な建築様式をふまえて、まちなみを再現したのが、おはらい町やおかげ横丁の姿なのです。現在、伊勢では、おはらい町以外にも二見浦の夫婦岩表参道のまちなみにおいても保全再生に取り組んでいます。

伝統的な歴史都市「伊勢」

歴史都市のまちづくりに大切なことは、何より「歴史文化の保持と育成」、「タイミング」そして「市民と行政の協働」です。伊勢のまちづくりにおいて、市民と行政の協働を得やすいのは、心をひとつにできる「式年遷宮」があるからこそだと思います。またおはらい町の整備を本格的に開始したのは、地方都市でリゾート開発がすすんだバブル時代。そんな時代にあっても、おはらい町では、あくまでも伊勢固有の歴史的なまちなみの保全再生を目指した点が画期的です。現在のおはらい町の繁栄を見れば、伊勢固有の歴史文化を大切にしながらゆえに、人々に永く変わらず愛されているの是一目瞭然です。



出典:「伊勢市景観計画・伊勢市」

工学研究科建築学専攻・准教授
浅野 聡 Asano, Satoshi

教員特集 2

↑
伝統美術の視点から再発見！



「伊勢両宮曼荼羅図」江戸時代・17世紀 紙本着色 165.4×178.7cm 一幅
神宮徴古館農業館蔵

神宮の曼荼羅図

曼荼羅とは、本来、仏教の世界観を表したものです。上の図は、神宮両宮と参詣の様子を一幅に合わせ描いたものです。神宮は古来から特別な神社として一般庶民の参詣をきびしく制限してきましたが、平安時代の末期になると王朝財政の逼迫とともに、神宮に対する支持基盤も衰えたため、全国に信徒を広める努力を始めるようになりました。

曼荼羅図を読みとく

曼荼羅には、上部に日輪・月輪、右下には宮川にかかる船橋とみそぎをする人々が描かれ、道中は、山田の町並みから上方へ外宮、天岩戸を経て、中央部で下方へ屈曲し小田橋・間の山を過ぎて、五十鈴川にかかる宇治橋に至ります。橋を渡ると内宮。内宮の上には朝熊山金剛証寺、その左には、二見浦と富士山が遠く望めます。

曼荼羅図がプレゼン資料？

そこで、宣教師兼ツアーガイドの役割を果たしたのが、御師（おんし）と呼ばれる神職団です。御師は、曼荼羅を携えて全国津々浦々を訪ね、村から代表者を選んで参詣させました。近世の一般的な参宮のかたちは、参詣者が御師の選んだ宿坊に泊まり、御師のガイドで両宮を参詣する、といったまるで現代のツアーのようでした。曼荼羅は、縦横に折れ跡が残っており、布教の道具として小さく折り畳んで携行していたようです。曼荼羅を使って神宮の魅力を伝える御師の姿が浮かびます。

この「伊勢両宮曼荼羅」は、伝統美術以外の観点からも、非常に興味深い内容をはらんでいるようです。

教育学部美術教育講座・教授
山口 泰弘 Yamaguchi, Yasuhiro

教員特集

神道の視点から再発見！

教員特集 ③ 「怪異」は神がもたらす？

古代・中世には、「怪異」というものは神がもたらす啓示であり、人々にとって影響を及ぼす一大事でした。神宮においても同様で、特に平安時代以降は、諸神社において怪異が頻発し大きな災厄が起きる予兆とされました。怪異が発生した場合には必ず朝廷に報告され、軒廊御卜※（こんろうのみうら）が行われることによって、怪異に対してどのような対処をとったらいいか、その都度、慎重な判断が下されました。

神宮での「怪異」

王権と最も密接な関係を持つ神宮では、怪異の発生には特に注意が払われていました。しかし、この怪異の発生には、大いに人為的な要因があったことが伺えます。神宮で発生した怪異の一例を挙げると、観応の擾乱の際に、「外宮の宝殿が鳴動する」という怪異が発生しています。実はこうした国家の存亡に関わる一大事が発生したタイミングと合わせて神宮では怪異が頻発していたのです。鳴動は第三者が確認できない怪異のため、とりわけ恣意的に利用されたようです。

「怪異」と国家

こうした思考の在り方には、怪異発生と国家の動揺とを恣意的に結びつけようとする背景があったのではないのでしょうか。神宮祢宜たちは神宮での怪異発生を計画的に主張することによって、王権にとって重要な神社であることを朝廷に再認識させようとしたとも考えられます。また、室町時代には、怪異発生を奏上する際に、あわせて仮殿遷宮の要請を行うことがありましたが、次第に、朝廷の経済的理由等により対応処置が迅速に行われなくなります。怪異は神霊のあらわれですが、それを発現させるのは人間の意思であったのかもしれませんが。

※軒廊御卜：平安時代、朝廷で行われていた卜占。



トイ(うらない)に用いる亀の甲羅

人文学部・教授
山田 雄司 Yamada, Yuji

現代版

おかげ参り 餅街道を行こう！



江戸時代には
幾百万人の人が
参詣!

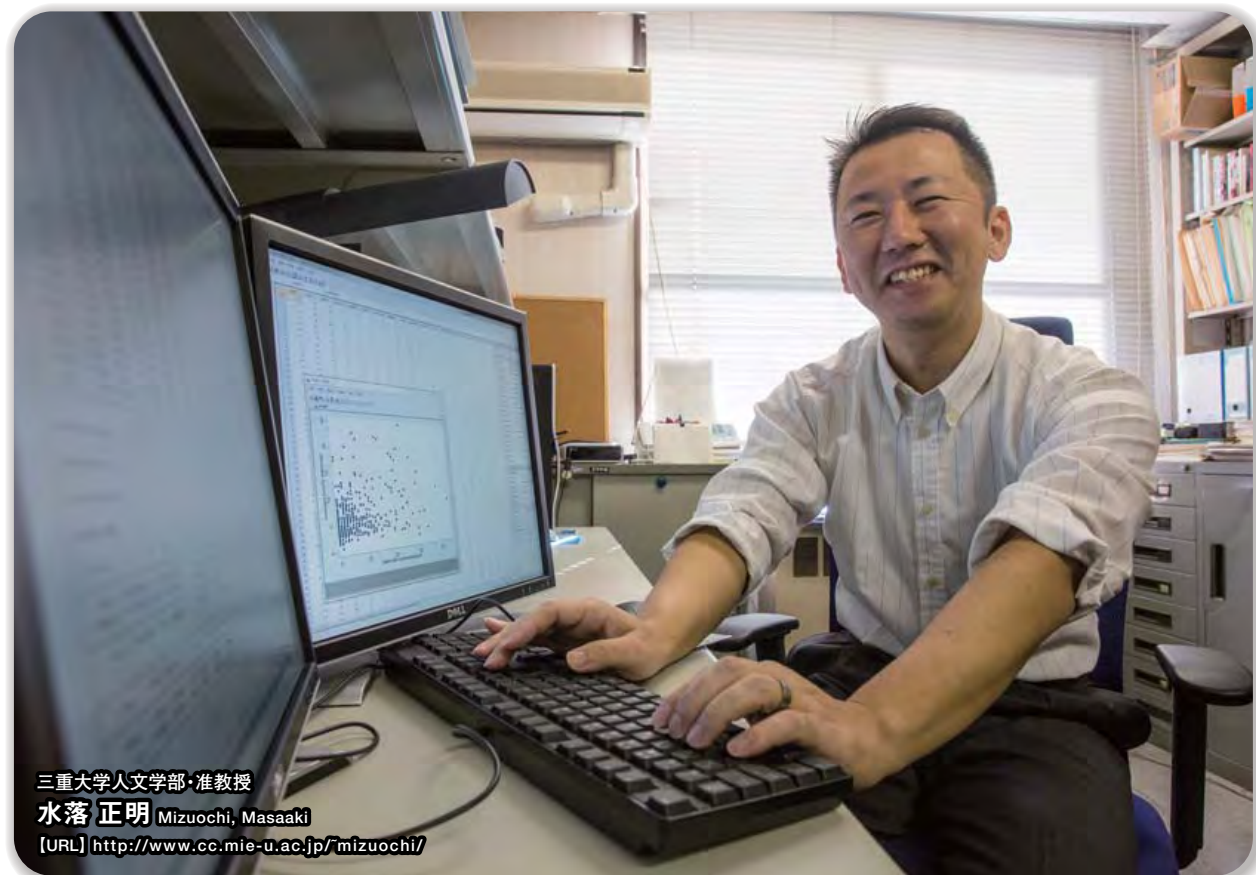
甘いおもちで
旅の疲れを
いやしていたん
だね



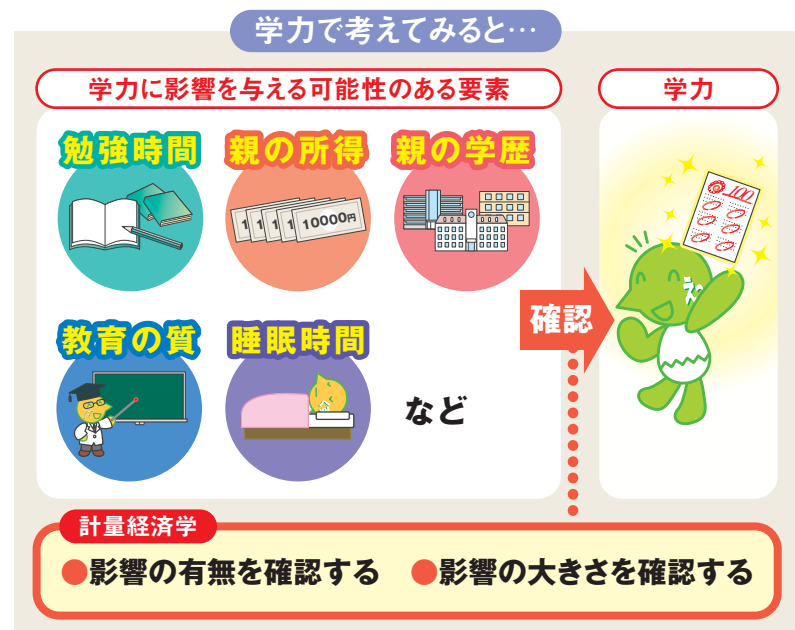
落合芳幾「おかげまいり」江戸時代・慶応3年
かめやま美術館所蔵

特集
おもしろ
研究・先生
Ⅸ

計量経済学で世の中
の関係を明らかに
しよう
試験の得点から政策まで



三重大学人文学部・准教授
水落 正明 Mizuochi, Masaaki
[URL] <http://www.cc.mie-u.ac.jp/~mizuochi/>



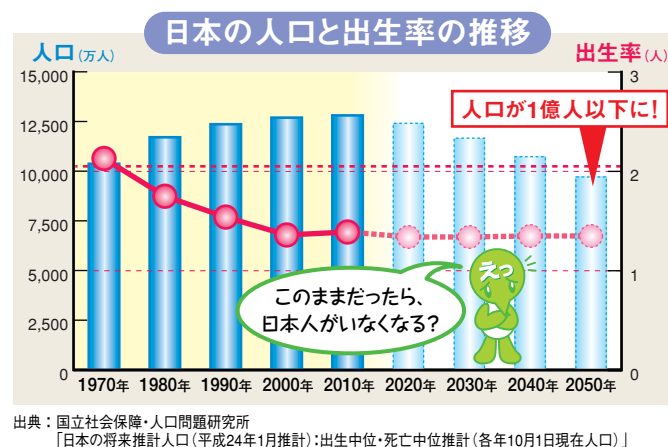
計量経済学とは？

世の中には影響がありそうでも実際はどうかかわからないものがあります。こうした影響の有無と大きさを統計学的な観点から確認するのが計量経済学です。

たくさん勉強した子どもは、試験の得点も良い。一般的に言われていることですが、実際に勉強時間は試験の得点にどれほどの影響を与えているのでしょうか。勉強時間の他にも、教育の質、親の学歴や所得などの要因も子どもの試験の得点に影響を与えているかもしれません。

計量経済学の分析方法

では、どのようにして関係性を確認するのでしょうか。計量経済学では、関係性を確認するために「回帰分析」というツールを用います。試験を受けた子どもの得点と勉強時間、親の所得などのデータを集め、その平均的な傾向を直線ととらえます。これによって勉強時間などの要因が試験の得点に影響を与えているのか、また勉強時間を1時間増やすと平均的に試験の得点が何点上がるかがわかります。さらに、同じ人を継続的に観察（パネル分析）することでより正確に分析することもできます。



計量経済学は政策に近い学問！

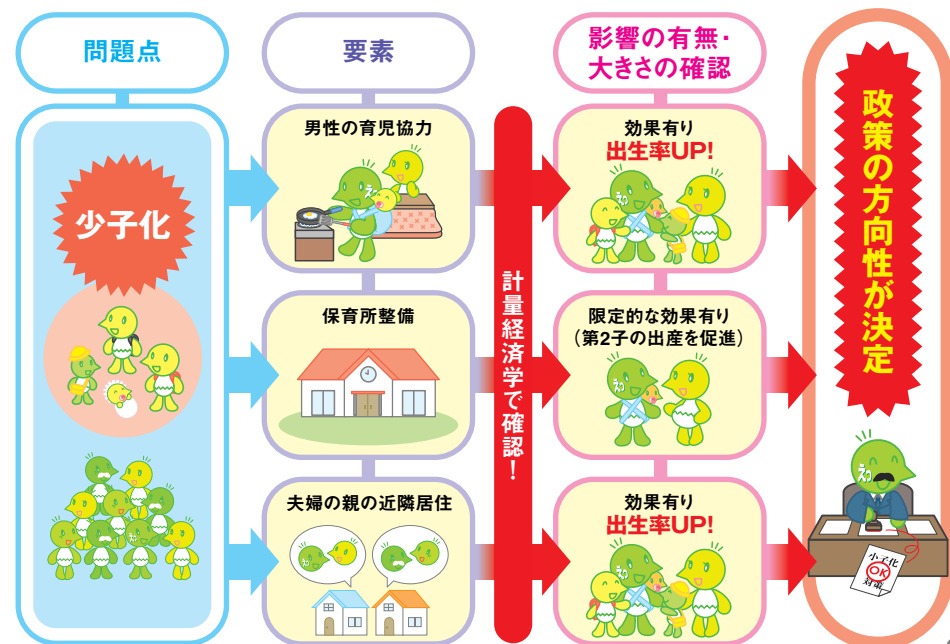
こうした関係性を確認するのは、政策的にも重要です。

少子化を例に挙げてみましょう。日本では、少子化が深刻な社会問題として取り上げられており、とうとう人口減少時代を迎えました。合計特殊出生率も1.39（2011年）と人口を維持するために必要な合計特殊出生率2.08を大きく下回っています。少子化対策が行われるべきですが、有効的な政策を行うためには、計量経済学で導き出されたエビデンス（客観的証拠）に基づいた議論が必要になるのです。

イクメンになると少子化が解決する？

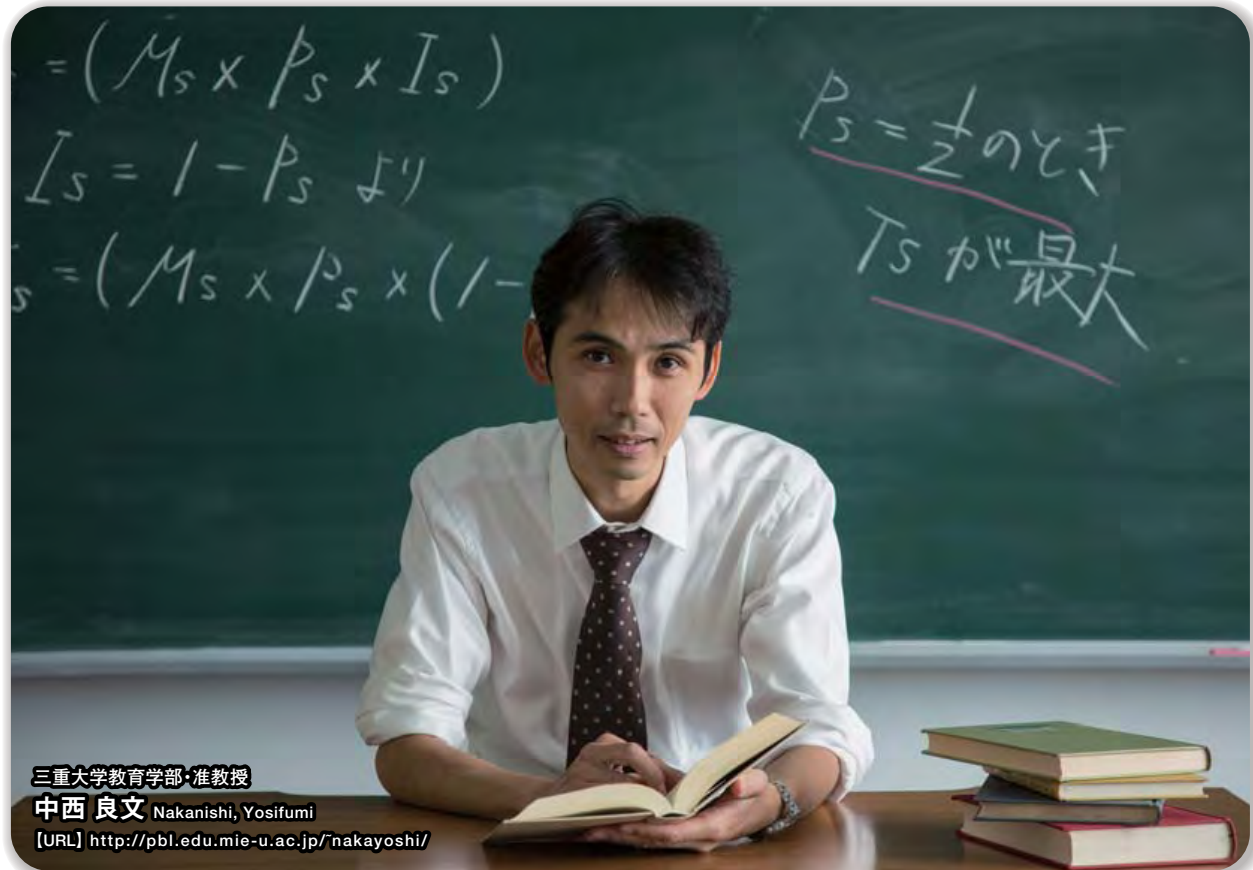
こうした危機的状況の日本を救う要素の一つが「イクメン」の存在です。男性が育児に積極的に協力することで、出生率が上がる傾向が確認できました。さらに、育児のための休暇が長ければ、子どもの数が増加する確率も上昇しています。ただ、男性の育児に関する休暇取得はまだまだ少なく、男性が育児のための休暇を取得できるように政策的に支援していく必要があります。

このように政策の方向性を見出し、世の中の関係を明らかにするのが計量経済学です。



特集
おもしろ
研究・先生
IX

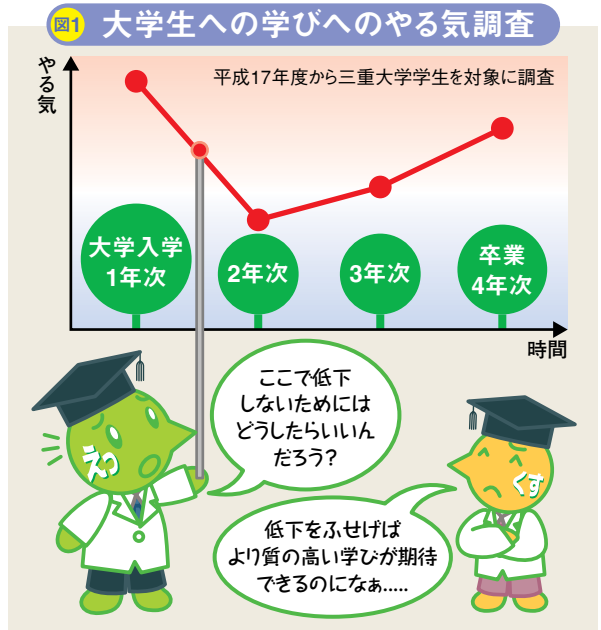
心理学でモチベーションアップ?!
「学びを楽しめる大人へ」



三重大大学教育学部・准教授
中西 良文 Nakanishi, Yosifumi
[URL] <http://pbl.edu.mie-u.ac.jp/~nakayoshi/>

学 ぶことはなぜ楽しいのか?

学ぶことが楽しいなんておかしい、と思う人も多いかもしれませんが、大学には学ぶ楽しさに取り憑かれた人が沢山います。「学ぶこと」で、知らなかったことを知ることができる面白さに触られます。また、学んだことを生活に役立たせることもできます。さらに、知識やできることが増えることで、「自分はできるんだ」という自信にもつながります。そして、学ぶことを通して、人とつながることもできます。学ぶことには、こんなにも楽しい要素が詰まっているのです。しかし、一方で学ぶことにやる気を持ってない人がいるのも事実です。では、学びへのやる気はどのように高めればよいのでしょうか。



学 びへのやる気
＝モチベーションの構造を知る

それを知るには、学びへのやる気＝モチベーションの構造を知ることが手になりになるかもしれません。古くから、モチベーションは「できる」という感覚である「期待」と、それを行う価値づけである「価値」の掛け合わせによって決まるという「期待×価値」理論において説明がなされてきました。これについて三重大大学の全学生を対象に経年的に調査を行った結果(図1)から私たちは、大学入学時への働きかけとして、「4つのカスタートアップセミナー」※1を開設しました。また、三重大大学では問題解決やプロジェクト達成を基に学びを進めていくPBL (Problem/Project-Based Learning)※2を展開していますが、このような学習によって、学ぶことへの価値づけが高まるとともに、望ましいやり方で学習が進められることが分かっています。

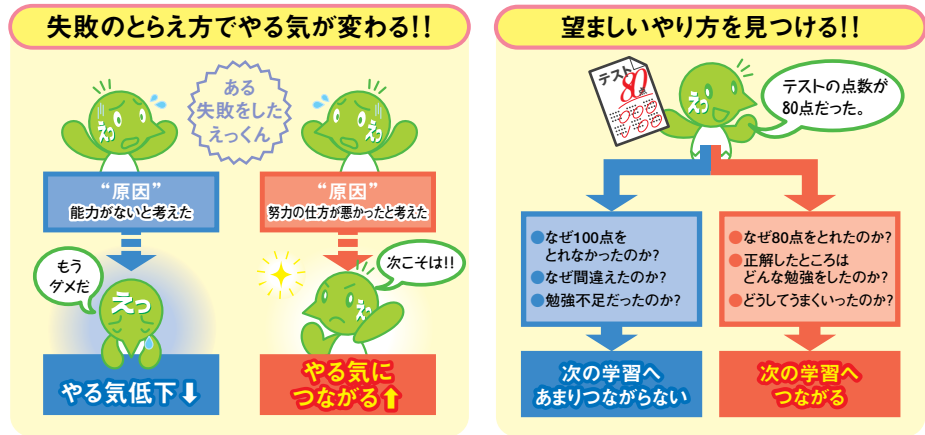
※1：三重大大学の教育目標「4つの力」：「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」をどうすれば身につけることができるのかを学ぶ授業。
※2：現実的な問題解決やプロジェクトを通して学ぶ方法。

学 びを楽しめる「大人」を育てる

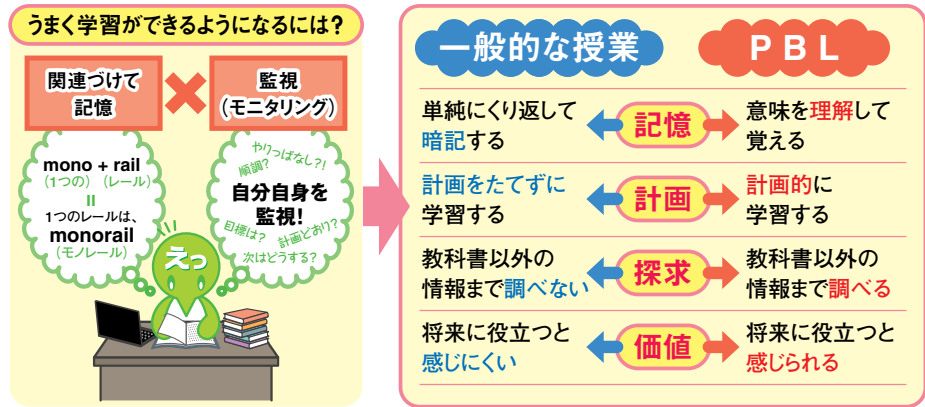
近年、学力低下の議論が盛んに行われています。しかし、「子ども」の学力については、2009年のPISA調査※で、調査対象となった約60の国と地域のうち、日本の順位は10位以内です。一方、学力低下の議論が始まりかけた1990年から2000年頃の時点で既に、「大人」の学力は、国際比較調査において最下位に近い結果が出ています。この調査では、大人の学習へのやる気も調べられていますが、同じく世界最下位レベルです。このことから、本当に「学力低下」の議論をしないといけないのは、「大人」に対してなのです。しかし、社会に出てしまった後の「大人」に対して教育をするのは、大変なことです。ですから、まさに社会に出ようとしている大人である「大学生」に質の高い教育を行うことが重要で、うまく学びを楽しむには、大学生にとって意味のある学びを展開しなければなりません。

※PISA：OECDによる国際的な生徒の学習到達度調査

これまでの研究から分かったこと

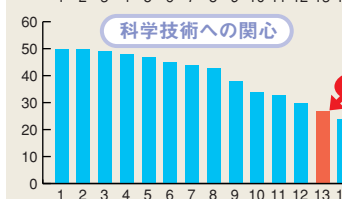
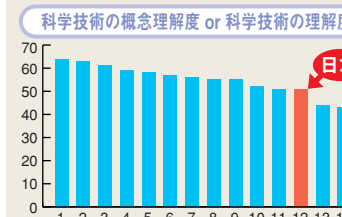


PBLの手法を用いた場合の学習効果



大人の学力調査結果

※日本以外は1992年の結果、日本は2001年の結果を使用



子どもの学力調査「PISA調査」(2009年)
5位/65カ国!!
科学リテラシーにおける順位

僕たち大学生が頑張らなきゃいけないんだ!

文部科学省「科学技術に関する意識調査-2001年2～3月調査-」より

特集
おもしろ
研究・先生
Ⅸ

再生可能エネルギー発電の
可能性を求めて

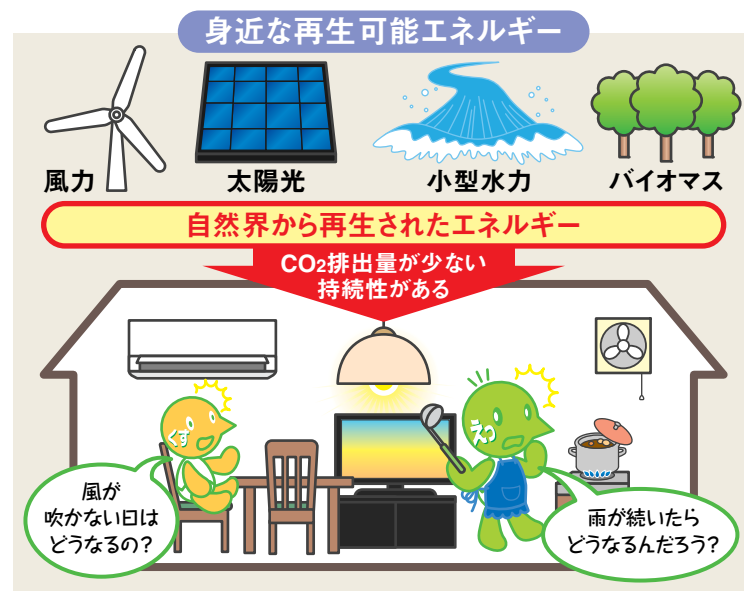


三重大学大学院工学研究科・准教授
山村直紀 Yamamura, Naoki
[URL] <http://www.esl.elec.mie-u.ac.jp/enesys/>

研究室所有の屋上風車前にて

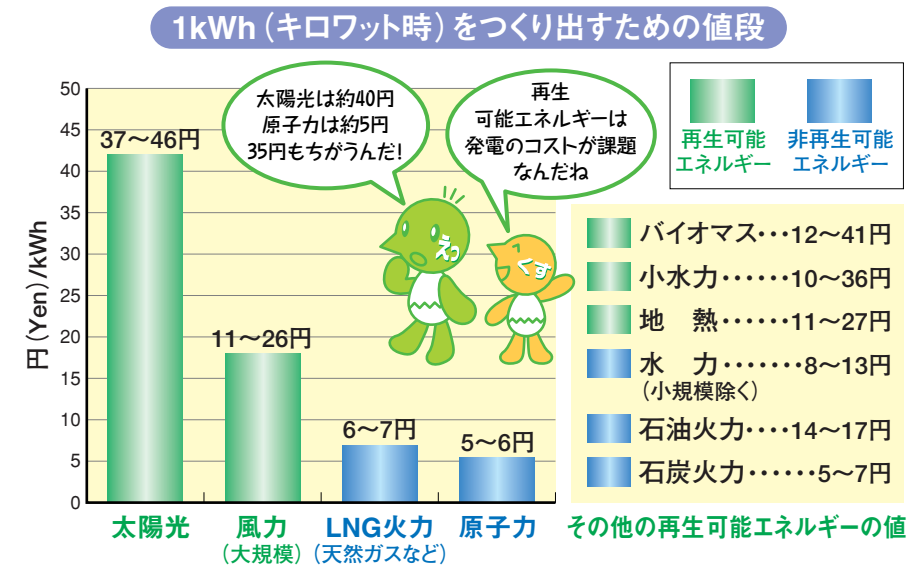
再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギーとは、基本的には尽きることのないものです。それは、自然界によってつくられたエネルギーが私たちの利用する以上の速度で補充されるからです。また、石炭や石油、天然ガスなどの化石燃料を使ったエネルギーに比べて、環境への影響がとて低いエネルギー源です。2011年の大震災の後、原子力発電所への不安感から、再生可能エネルギーを使った発電への期待が急激に高まり、国もその普及に一層の力を入れるようになってきています。しかし、いいことばかりではありません。



再生可能エネルギー発電の
抱える問題

発電に使われる再生可能エネルギーの中で一番注目を浴びているのは、風力と太陽光です。これらは気象・天候の変化等、利用する側からは操作できない要因によって、発電機に入ってくるエネルギーが大きく変化しています。そのため、必要なときに十分な電力をまかなうことができないなどの問題があります。また、火力発電所に比べて割高な設置コストや、風力発電に適した場所が日本には少ないなどの問題もあります。



内閣府国家戦略室資料：「革新的エネルギー・環境戦略」策定に向けた中間的な整理 平成23年7月29日より

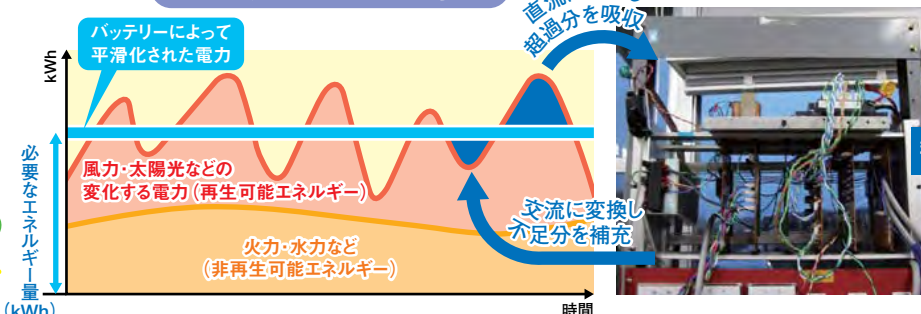
バッテリーとの併用でベストミックスへ

現在、三重大学ではスマートキャンパス事業※として、安定した電力供給とCO2削減による環境改善を目指して、これを実証するための発電設備を平成25年度から本格的に稼働させ、実証に取り組んでいく予定です。エネルギーシステム研究室ではこのような設備に使われるバッテリーや大容量コンデンサなどを使って風力発電や太陽光発電の変化する電力を平滑化して(図)、火力発電所などと組み合わせることで各発電量を細かく調整することにより、ベストミックスな設備にする研究に取り組んでいます。現状まだまだバッテリーの値段は高いですが、電気自動車の普及による量産効果でこれからさらに値段は下がっていくと思います。さらに、バッテリー容量を増加させる技術も日々進歩しています。

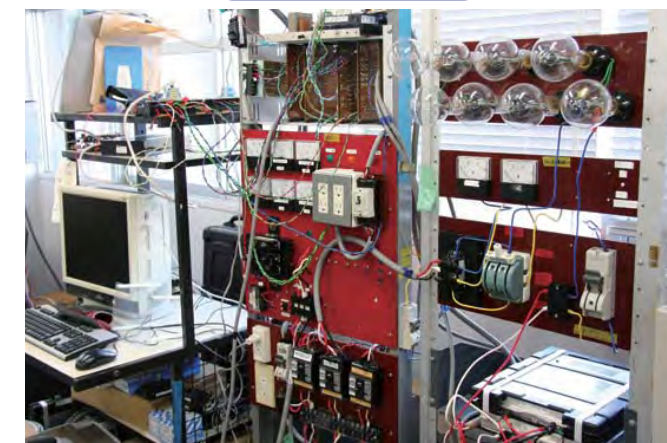
※全国の大学初の実証として行われている事業で、地域のエネルギーを有効に活用しながらキャンパス内の多様なコミュニティから排出されるCO2を削減します。



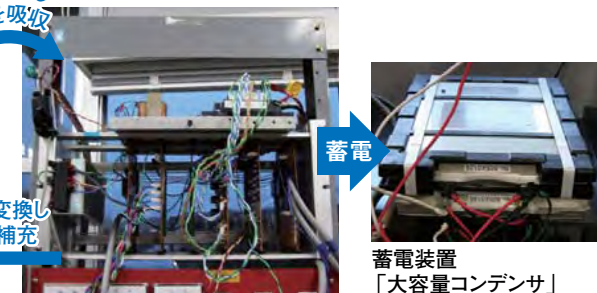
変化する電力の平滑化



平滑化の仕組み



電力を平滑化する装置



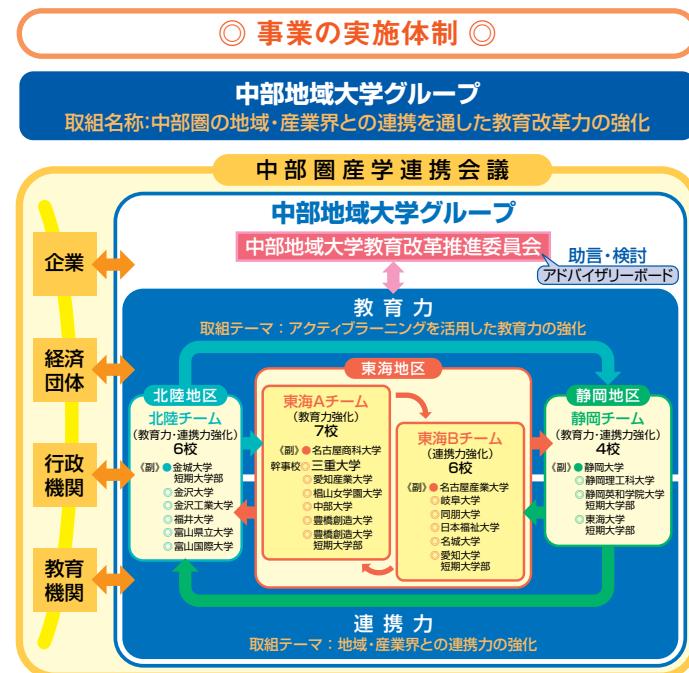
文部科学省等支援プログラム

平成24～26年度

産業界のニーズに対応した
教育改善・充実体制整備事業

「中部圏の地域・産業界との連携を通じた 教育改革力の強化」

中部圏の国公立23大学は、文部科学省補助金事業として、産業界のニーズに対応した人材育成を目指す取組を申請し、採択されました。本取組は、①「アクティブラーニングを活用した教育力の強化」、②「地域・産業界との連携力の強化」という二つのテーマを掲げて、23大学が連携しつつ、企業、経済団体、行政機関、教育機関と対話を行い、教育改革をとともに進めていくユニークな試みです。三重大学は、統一プログラムによる初年次教育やPBLの全学的推進などの教育改革の実績が認められ、幹事校として本取組を推進することになりました。



独立行政法人 科学技術振興機構(JST)

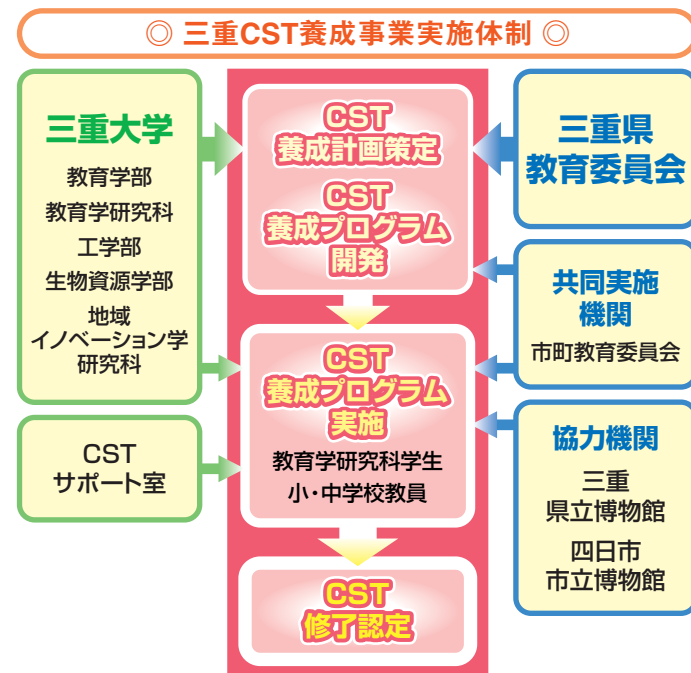
平成24～27年度

理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)
養成拠点構築プログラム

「CST(コア・サイエンス・ ティーチャー)養成による 理科授業支援体制の構築」

小・中学校教員の理科教育における指導力向上を図ることを目的として、大学と教育委員会が連携し、養成プログラムの開発・実施や地域の理科教育における拠点の構築・活用などを通じて、地域の理科教育において中核的な役割を担う教員(コア・サイエンス・ティーチャー)を養成するものです。

CST(コア・サイエンス・ティーチャー)は、小中学生の理科への学習意欲・能力を喚起するため、優れた理科指導法を修得し、実践する教員です。また、理科教育支援拠点も活用し、研修会や教材開発で中心的な役割を果たすことにより、地域の理科教育の質を向上させます。



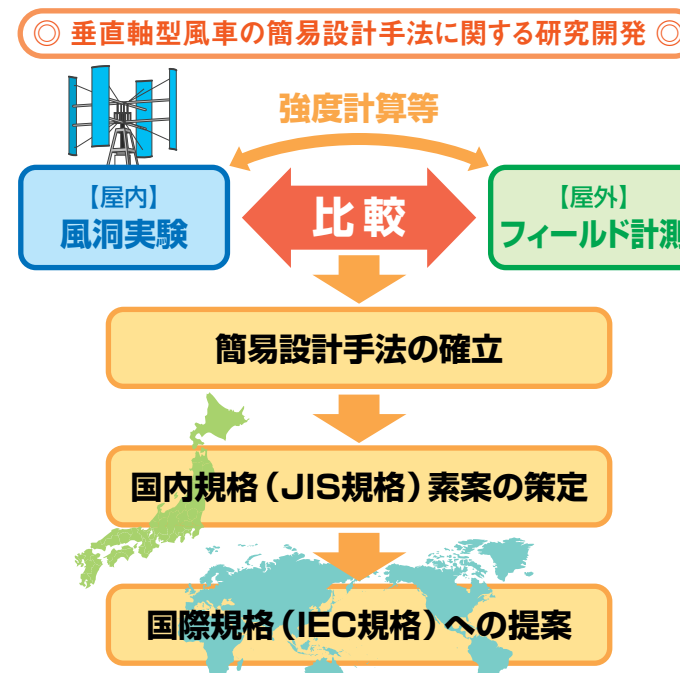
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

平成20～24年度

次世代風力発電技術研究開発

「垂直軸型風車の 簡易設計手法に関する 研究開発」

主たる目的は、日本の風力発電設備の故障率を下げ、効率化を図ることにより、利用率を上げることです。本事業は「複雑地形CFDシミュレーション及び風洞実験技術の高度化」、「複雑地形風特性モデルの開発・検証」、「リモートセンシング技術の応用研究」、「小形風車の技術的評価手法の実証・開発」からなり、そのなかの「垂直軸型風車の簡易設計手法に関する研究開発」は、風洞実験とフィールド計測とを比較して強度計算等を行い、垂直軸型風車の簡易設計に関するJIS規格素案の策定をするものであり、将来的には国際規格(IEC規格)への提案までも見据えたものです。



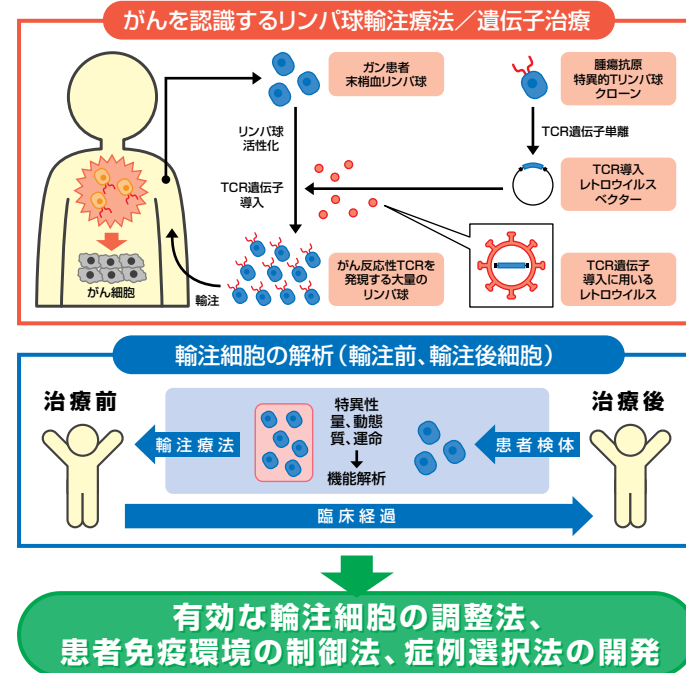
平成23～27年度

次世代がん研究戦略推進プロジェクト
次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム

「T細胞養子免疫療法における 投与T細胞と免疫効果の 評価による治療戦略の構築」

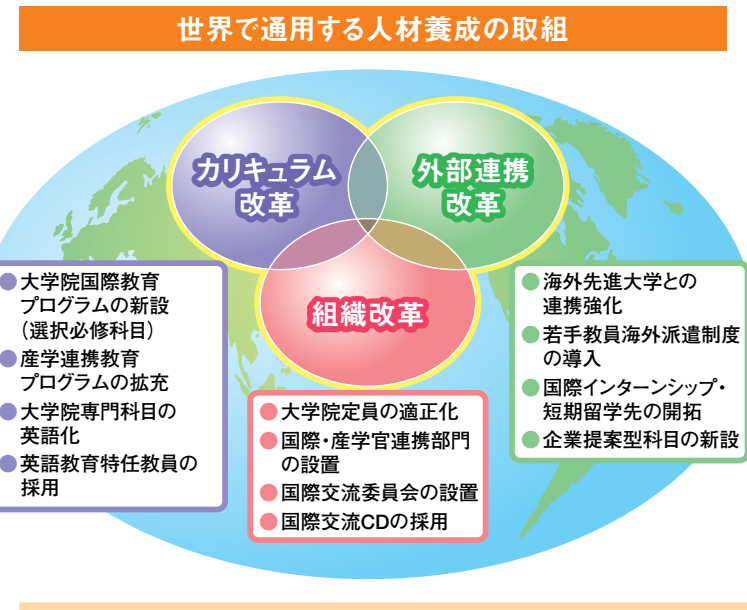
三重大学ではかねてより、がん患者に対するT細胞輸注治療法やがんワクチン療法による臨床試験に取り組んでいます。今回は、臨床検体(患者の血液やがん組織など)を用いた様々な解析を行うことにより、免疫療法の効果を予測するバイオマーカーを見つけ出すことを目的としています。これにより、免疫療法に対する良い効果が予測される患者をあらかじめ選び出して治療することや、現在の治療法をより効果的なものにするを目指しています。

◎ T細胞養子免疫療法における投与T細胞と免疫効果の評価 ◎



世界に通用する高度専門産業人材養成のための大学院教育改革 ―コースワーク教育の国際化と新展開―

産業界、学生、社会からのニーズに応じて、国際感覚を有する産業人材養成は急務となっています。本事業では、国際化カリキュラムの開発、学生の国際会議発表、海外留学、国際インターンシップ等による海外現場体験機会の増加、海外大学との学術協定の拡大を通じた学内の国際化と世界に通用する国際性豊かな人材育成を目指しています。



工学部・工学研究科 国際化教育 カリキュラム

学部1・2年生	学部3年生	学部4年生	修士1年生	修士2年生
共通教育英語科目 ● 英語 I 大学基礎 ● 英語 I 英語会話 ● 英語 I TOEIC ● 英語 III (上級) ● 英語 IV (上級) ● 未修外国語 I ● 未修外国語 II	選択専門英語 ● 理系英語科目 ● 海外連携大学間 Skype-Lecture	必修専門英語 ● 英語会話科目 特任教員による英語教育	選択必修国際化教育科目 ● 英語演習 I ● 英語演習 II ● 英語演習 III ● 英語演習 IV ● 海外連携大学間 Skype-Lecture ● 国際会議発表 ● 国際インターンシップ ● 海外留学	

海外先進大学等との国際交流の充実

- バリ工芸大学 (仏国)
- サボア大学 (仏国)
- ル・マン高等学院 (仏国)
- バレンシア州立工芸大学 (スペイン)
- カーディフ大学 (英国)
- カリフォルニア大学・アーバイン校 (米 国)
- クリーブランドクリニック (米国)
- 梨花女子大学校 (韓国)
- 浙江大学 (中国)
- アジア工科大学院 (タイ) (略称含)

国際インターンシップ・留学

国際化教育の効果

- 学部・大学院の6年一貫国際化カリキュラムの実現
- 少人数教育による学生の英語能力向上
- ボリコムを用いた海外とのテレビ会議の拡大
- 学生の英語による研究発表の定常化
- 学内国際化の推進
- 学生による国際交流の活性化
- 海外先進大学との学術協定締結の拡充
- 学生の協定大学・海外企業派遣と現場体験機会の増加
- 外国人教員・留学生の受け入れ拡大
- 学生参加の国際共同研究の推進
- 国際シンポジウムの開催

国際シンポジウムの様子

学生による英語での発表

国際化教育の取組

- 大学院定員の適正化
- 国際・産学官連携部門の設置
- 国際交流委員会の設置
- 国際交流CDの採用

取組実績

(平成24年12月末現在)

年度	H20	H21	H22	H23	H24
協定大学 (大学)	6	8	10	12	14
海外派遣 (名)	5	9	11	18	32
英語履修 (名)	145	125	120	117	370
国際会議 (件)	70	48	64	236	300以上

※国際会議のH24については見込み



世界に通用するグローバル人材の育成

英語が身につけば世界中の人々と渡り合えるね

科学技術をはじめとした工学分野の学間は世界共通です。そのなかでしっかりと自らの研究を表現するためにはグローバルな言語、英語を身につけることが必須です。本取組のなかで国際シンポジウム、国際会議で発表を行うことにより、学生に英語で話す機会を増やし、また、教育・研究の質を向上することを狙っています。

伊藤 智徳
三重大学大学院工学研究科長・工学部長・教授



10月

◎ 5日
**伊賀連携フィールド
「開設記念講演会&シンポジウム」開催**
上野商工会議所コミュニティ情報プラザホールにて、忍者文化という伊賀の特色を活かしたまちづくり・情報発信を、参加した130名全員で考えました。



◎ 9日
講内の駐車場に太陽光パネルを設置
スマートキャンパス構想の一環として太陽光発電設備(約60kW)を設置しました。来年度はさらに120kW分の太陽光発電設備を設置する予定です。



◎ 10日～12日
附属練習船勢水丸の公開実習航海
伊勢湾・尾鷲湾の海洋環境について学びました。



学生15名が参加しました

◎ 20日
**三重県実業団対抗ゴルフ選手権で
三重大学チームが優勝**

31団体から39チームが出場した「第三回県実業団対抗ゴルフ選手権」で、三重大学の職員で構成したチームが団体優勝しました。



◎ 26日
**南立誠幼稚園の園児が
木の実ひろいに来学!!**

気持ちいい秋晴れのなか、園児たちは、教育学部の教員・学生たちの指導のもと、どんぐりやまつぼっくりひろいに励みました。



構内には自然がいっぱい!

◎ 29日
**附属病院外来・診療棟新営
その他工事の安全祈願祭**

新外来・診療棟の新築工事について、工事の安全などを祈念する安全祈願祭が大学関係者や工事関係者など約40名の出席のもと、挙行されました。



11月
◎ 6日
実験動物感謝式が挙行

医学部構内の医礎の庭において、学の実験と生命科学の進歩のために供せられたマウスなどの小動物に感謝の念と敬意を表しました。



◎ 9日
三重大学カレーの試食会



◎ 10日・11日
**「青少年のための科学の祭典2012
三重大学大会」を開催**

講堂にて開催された標記大会には、実験や工作などの34のブースが出展され、2,262名の方々に科学の楽しさを知ってもらう良い機会となりました。



◎ 22日
附属幼稚園に井戸を設置!!

幼稚園の池に住むメダカたちのために、教育学部技術科の教員・学生が、震災時に水を供給することが出来るかという研究も兼ねて、身近な道具で井戸掘りを行いました。



◎ 23日・24日
**第64回三重大学祭
「三重力～Miembers」を開催しました**

子ども企画や物産展など、地域の方々も楽しめる企画が盛りだくさんで大盛況でした。



◎ 26日
名誉博士称号授与式を挙行

ノーベル平和賞受賞者であり、東ティモール民主共和国の大統領や首相など歴任されたジョゼ・ラモス=ホルタ氏へ本学2人目となる名誉博士の称号が授与されました。



◎ 28日・12月5日
**教育学部の開講する授業科目への
障がい者雇用職員の参加による
実践体験学習**

障がい者雇用職員10名と特別支援教育コースの学生12名が落ち葉拾いや内田学長を交えたペアゲームなどを行い、それぞれの資質を高めました。



12月
◎ 1日
留学生のための研修旅行

留学生80名は、伊賀市の伊賀流忍者博物館や忍者屋敷を見学後、伊賀焼伝統産業会館にて、伊賀焼の陶芸体験を熱心に行いました。



◎ 8日
第6回三重大学駅伝大会を開催

教職員・学生・地元の中学生など64チーム470名が参加し1周3キロのコースを7周する「ハープリーマラソン」を楽しみました。



◎ 10日
三重大学地震防災訓練を実施

上浜キャンパス内において、大規模地震の発生に伴う津波被害への防災力向上を目的に標記訓練を実施しました。



対策本部の様子



消火訓練の様子



救護訓練の様子

◎ 12日
**環境ISO学生委員会が作成した
ペットボトルツリー**

資源の大切さや節電への意識向上、また地域との共同を目的として作成され津なぎさまちにおいて展示されています。



◎ 17日
**元プロ野球選手が
附属病院小児科を慰問**

小児科病棟では、プレイルームに集まった入院中の子どもたちや保護者らとともに様々な話題で盛り上がり、一人一人と記念撮影を行いました。



川村丈夫さん(左)、病院長(中央)、野村弘樹さん(右)

◎ 19日
第3回学生と共通教育を語る会を開催

「大学生の理想と現実」及び「こんな授業あったらいいな」をテーマに学部学生、大学院生及び教職員の総勢約60人が熱く語り会しました。



◎ 20日
附属幼稚園児に学長サンタ来訪

学長サンタは100名を超える園児にプレゼントを手渡した後、お遊戯に参加するなど楽しい時間を過ごしました。



三重のピカ1

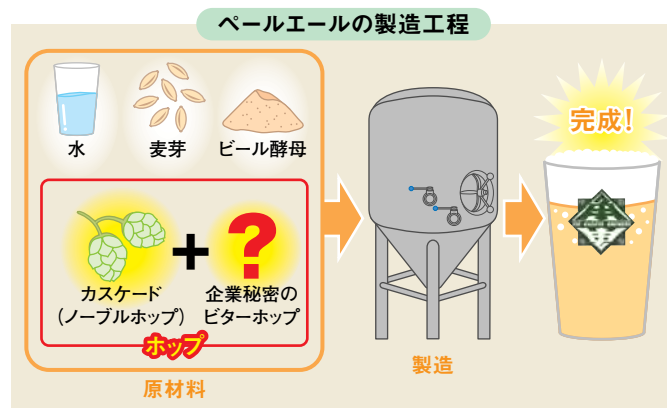
三重県でピカッと輝く企業を紹介します。

有限会社
二軒茶屋餅角屋本店

ピカ1 地ビール

和菓子屋さんの地ビールが世界の頂点を獲った!

そんな馬鹿な、と思われるかもしれませんが。和菓子屋さんがビール造り、それも世界No.1の称号を手に入れたなんて。2003年、「パールエール」が世界4大会の1つAIBA（オーストラリア国際ビールアワード）で日本初の金賞受賞し、一躍地ビール業界のトップに躍り出ました。430年以上の歴史を誇る和菓子屋さんのになぜ地ビールの製造を始めようと思ったのでしょうか。



伊勢から世界へ

2012年11月26日には、熊野市の柑橘類を使った新酒「新姫」を発売するなど、最近は三重県の特産物とのコラボ商品の開発・販売にも積極的に取り組んでいます。

「伊勢だけでなく三重県を世界へ発信したい」という熱い思いを持って地ビール造りを続けています。



▲鈴木社長と想いのこもった地ビール

SPOT.....

～1575年創業。和菓子、味噌、醤油、地ビールの製造・販売を行っている老舗です。～

所在地／〒516-0017 三重県伊勢市神久6丁目8番25号

代表者／代表取締役社長 鈴木成宗

事業内容／和菓子、味噌、醤油、地ビールなどの製造・販売

企業理念／伊勢から世界へ

【URL】<http://www.biyagura.jp/>

和菓子屋さんが世界一のビールを造ったよ!

▲これまでの受賞歴

受賞の鍵は“ホップ”

大学時代の海洋性プランクトンの研究を何かに活かしたいと考えていた21代目の鈴木成宗現社長は、1995年の酒税法規制緩和がきっかけで「地ビールだ!」と思ったそう。18代目鈴木藤吉社長が手掛けた味噌・醤油のノウハウを活かせるとも考え、世にも珍しい和菓子屋さんの造る地ビールが誕生しました。中でも鈴木社長がこだわっていることが、良い品種のものを使い、新鮮なホップの香りを最大限に引き出すこと。ホップを整えた後でボディ感（コク・深み）や甘み、深みを加えていく独自の製法によって美味しさを極限まで高めることで、飽きの来ない特別なビールが完成するのです。

こんなにも身近に日本を代表する地ビールがあったなんて知りませんでした!

これからどんな種類のビールがつくれるのだろうとワクワクしました!

鈴木社長「押し」の地ビール「アイベリアル・レッドエール」

大島 レポーター 里中 レポーター

大島 慶之(三重大学人文学部 法律経済学科 4年) / 里中 美晴(三重大学人文学部 文化学科 4年)

写真部

活動は
毎週火曜日 18:00～
活動場所／課外活動共用施設2階



こんにちは!写真部ではフィルム・デジタルを問わず、何を撮るかも自由!楽しく活動しています。現在男12人、女13人の計25人の部員がいます。年に6回、学祭や他大学と合同写真展を開催したり、夏休みには撮影旅行に行ったりしています。部員の多くは大学になってから写真を始めた人たちですが、先輩が優しく丁寧に教えてくれています。カメラは一眼レフからコンパクトやピンホールカメラまで様々、貸カメラもあります。写真を撮るのが好き、見るのが好き、はたまた写るのが好き...カメラに興味のある方、一度見学に来てみませんか?写真展もぜひ見に来てください。



代表 佐々 銀河
(工学部機械工学科 2年)

【URL】<http://mieunivphoto.web.fc2.com/index.html>

サイクリングサークル (MUCC)

活動は
毎週木曜日 12:30～(ミーティング)
毎週土曜日(サイクリング)
活動場所／翠陵会館3階和室



突然ですが、ここで皆さんに質問です。自転車と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか?多くの人は移動手段としてのママチャリなどを思い浮かべるのではないのでしょうか?僕たちサイクリングサークルはそんな移動手段の一つであり、道具に過ぎない自転車をスポーツとして楽しむことを目的としたサークルです。「最近運動していないので体を動かしたい。」「自転車に興味があるけど何から買えばいいの?」

どんな些細な動機でもかまいません。自転車に乗って普段と違う景色を楽しみませんか?活動内容は、毎週木曜日のミーティングと三重県内を100キロコースで往復するサイクリング。詳しくは、ブログをご覧ください。



代表 武井 佑太
(生物資源学部生物園生命科学科 3年)

【URL】<http://mieuniv-cycling.blogspot.jp/>



『蒲生氏郷
—おもひきや人の
行方ぞ定めなき—』
単著／藤田達生
（教育学部・教授）
定価／2,800円（税別）
発行／ミネルヴァ書房
ISBN／978-4-623-06490-8

近江日野の名門武家に生まれ、信長、秀吉に仕えて活躍。伊勢松坂12万石そして会津若松92万石へと栄転した蒲生氏郷。天下統一戦のなか最新の軍制導入により、近世大名へと転身しようとした文武両道の名将像を描く。



『入門英語音声学』
単著／服部範子
（人文学部・教授）
定価／2,000円（税別）
発行／研究社
ISBN／978-4-327-42189-2
「たけやぶやけた」のような回文を逆転再生すると、どのように聞こえるでしょうか。日本語の音声に関する問いに答えつつ音声学の理論に基づいて英語の音声の特徴について解説した、英語の音に強くなるための書です。

本の紹介



『レクチャージェンダー法』
編著／田中亜紀子
（人文学部・准教授）
定価／2,500円（税別）
発行／法律文化社
ISBN／978-4-589-03407-6



『『日葡辞書提要』索引』
編著／川口敦子
（人文学部・准教授）
定価／1,000円（税別）
発行／清文堂出版
ISBN／978-4-7924-1421-4



『包丁や火を使わない
ひとりでできちゃった!クッキング』
監修／達 直美
（教育学部附属特別支援学校教諭）
定価／2,200円（税別）
発行／ジアース教育新社
ISBN／978-4-86371-202-7



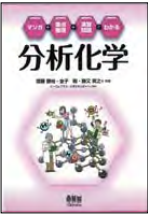
『カントを学ぶ人のために』
共著／田中綾乃
（人文学部・准教授）
定価／2,500円（税別）
発行／世界思想社
ISBN／978-4-7907-1562-7



『形而上学の可能性を求めて
—山本信の哲学—』
共著／田中綾乃
（人文学部・准教授）
定価／4,000円（税別）
発行／工作舎
ISBN／978-4-87502-447-7



『わかる 理工系のための化学』
共著／工学研究科分子素材工学専攻
全教員29名
定価／2,400円（税別）
発行／共立出版
ISBN／978-4-320-04400-5



『マンガ+要点整理+
演習問題でわかる 分析化学』
共著／金子 聡（工学研究科・准教授）
勝又英之（工学研究科・助教）
定価／2,800円（税別）
発行／オーム社
ISBN／978-4-274-21308-3



『Home Care Handbook for People with Intractable Neurological Diseases: Aiming to distribute better palliative care in Japan:』
編著／成田有吾（医学部看護学科・教授）
定価／1,000円（税別）
発行／ふくろう出版
ISBN／978-4-86186-532-9

教員表彰

受賞者	受賞名(受賞日)
工学研究科 教授 矢野賢一	システム制御情報学会2012年学会賞 論文賞 (2012.4.18)
共通教育センター 特任講師 大滝宏一 人文学部 教授 杉崎鉦司 他2名	日本言語学会 第143回大会 発表賞 (2012.6.17)
医学部附属病院 呼吸器内科 講師 小林 哲	臨床喘息研究会 第20回学術講演会 優秀演題賞 (2012.10.6)
理事(環境・国際担当) 副学長 朴 恵淑	2012年度「津田梅子賞」 (2012.10.7)

受賞者	受賞名(受賞日)
工学研究科 助教 溝田 功 他1名	8th International Conference on Novel Materials and their Synthesis (NMS-VIII) ポスター賞 (2012.10.18)
医学系研究科 助教 橋詰令太郎	第29回 国際心臓研究学会 (ISHR) Best Poster Award (2012.10.27)
医学部看護学科 助教 土田幸子	ソロブチスト日本財団 社会ボランティア賞 (2012.11.8)
教育学部 准教授 肥田野久二男	日本数学会函数方程式論分科会 第四回福原賞 (2012.12.15)

平成24年度 三重大大学知的財産表彰

■2012年12月7日



知的財産最優秀出願賞

医学系研究科 教授
GABAZZA ESTEBAN

工学研究科 教授
今西誠之

生物資源学研究科 准教授
森尾吉成

知的財産最多届出賞

生物資源学研究科 教授
船岡正光

生物資源学研究科 特任准教授
青柳 充

知的財産管理・活用功労賞

社会連携研究センター 助教
狩野幹人

知的財産活用賞

医学系研究科 教授
田中利男

医学系研究科 教授
吉田利通



平成24年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰

理事(環境・国際担当) 副学長
朴 恵淑

■2012年12月12日

外国人初の受賞者となった朴 恵淑理事・副学長は、四日市公害から学ぶ実践環境教育としての「四日市学」及び「三重レジ袋ゼロ運動」の業績が、地球温暖化防止の顕著な功績として称えられ、表彰されました。



環境大臣と

平成24年度 イノベーションコーディネータ賞

社会連携研究センター 特任教授
松井 純

■2012年11月29日

この賞は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が、平成21年度より産学官連携による研究開発及び企業化をコーディネートする人材を表彰するために創設したものです。



感謝状 「ミャンマーのネピドー総合病院への寄付」

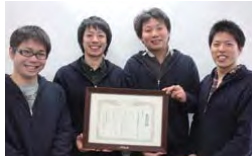
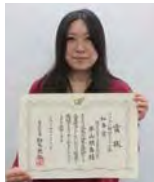
医学系研究科 脊椎外科・医用工学講座 教授
笠井裕一

■2012年6月27日

脊椎手術用ドリル・メイフィールドなどを寄付しました。途上国の医療の促進に多大な貢献をされました。



学生表彰

※（ ）内は指導教員
学年は受賞当時第12回計測自動制御学会SI2011
優秀講演賞 (2011.12.25)工学研究科 (博士前期課程) 2年 金澤賢一
(矢野賢一 教授)森林GISフォーラム (学生フォーラム in 森林学会)
大学院生の部
優秀発表賞 (2012.3.28)生物資源学研究科 (博士前期課程) 1年 茅原聡人
(板谷明美 准教授)第17回JPIJS若手のための
ポスターセッション
優秀賞 (2012.5.25)工学研究科 (博士前期課程) 1年 木村健太郎
(石原 篤 教授)日本ソフトウェア科学会第29回大会
学生奨励賞 (2012.8.24)工学研究科 (博士前期課程) 2年 中川雄貴
(山田俊行 講師)第6回触媒道場
優秀ポスター賞 (2012.8.25)工学研究科 (博士前期課程) 2年 今西健太
(石原 篤 教授)FIT2012論文賞
(2012.9.5)工学研究科 (博士前期課程) 1年 新 友太
(高瀬治彦 准教授)CI2012
Best Evening Poster Award (2012.9.13)工学研究科 (博士後期課程) 3年 高野敏明
(高瀬治彦 准教授)第二回FUJIコンテスト「産業用ロボットの未来」
最優秀賞 (2012.9.21)EMS腱駆動グループ
工学研究科 (博士前期課程) 2年 山本和幸
工学研究科 (博士前期課程) 1年 堂崙隆太郎
工学部 4年 石田翔平 / 工学部 4年 大石真士
(駒田 諭 准教授)3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2012
優秀学生表彰
テーマ:Environment (環境) (2012.10.21)生物資源学部 4年 濱崎 翼
(清澤秀樹 准教授)平成24年度統計グラフ三重県コンクール
パソコン統計グラフの部
知事賞 (2012.11.12)教育学部 4年 平山朋香
(下村 勉 教授)平成24年度統計グラフ三重県コンクール
パソコン統計グラフの部
教育長賞 (2012.11.12)教育学部 2年 笹倉 唯
(下村 勉 教授)第43回 中部化学関係学協会支部連合秋季大会
有機合成化学協会東海支部
優秀賞 (2012.11.28)工学研究科 (博士前期課程) 2年 有賀静佳
工学研究科 (博士前期課程) 1年 葛山陽菜
(清水 真 教授)第20回日本育種学会中部地区談話会
優秀発表賞 (2012.12.8)生物資源学研究科 (博士後期課程) 1年 松田智貴
(諏訪部圭太 准教授)野村総合研究所
NRI学生小論文コンテスト2012
佳作 (2012.12.22)人文学部 3年 竹川友祐
(田中亜紀子 准教授)環境ISO学生委員会
「第1回みえ環境大賞」

■ 2012年12月2日

メッセウイングみえで環境保全活動や環境経営の取り組みを表彰する平成24年度みえ環境大賞の授賞式が行われ、環境ISO学生委員会が環境活動部門で「第1回みえ環境大賞」を受賞しました。



附属学校園から

附属中学校 ― ご報告 ―

■ 皆様の温かいご声援により、附属中学校の音楽部が優れた成績を収めることができました。

金賞
音楽部 全日本合唱連盟、朝日新聞社主催
「第65 回全日本合唱コンクール全国大会」
中学校・高等学校部門中学校部門
混声合唱の部
(2012.10.28)

優良賞

NHK、全日本音楽教育研究会、
日本教育音楽協会主催
「第79回NHK全国学校音楽コンクール」
全国コンクール
(2012.10.8)



学長室にて

お知らせ

平成24年度 学位記授与式

◎日時◎ 平成25年3月25日 (月)
◎会場◎ 三重大学講堂 (三翠ホール)

平成25年度 入学式

◎日時◎ 平成25年4月8日 (月)
◎会場◎ 三重大学講堂 (三翠ホール)

入試チームから

平成25年度三重大学個別学力検査

■ 人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

◎出願期間◎ 平成25年1月28日 (月)～2月6日 (水) (必着)

◎個別学力検査等の日程◎ 【前期日程】平成25年2月25日 (月)
〔医学部は平成25年2月26日 (火) も実施〕
【後期日程】平成25年3月12日 (火)◎合格者発表◎ 【前期日程】平成25年3月 8 日 (金) 午前10時頃
【後期日程】平成25年3月23日 (土) 午前10時頃「三重大学学生募集要項 (一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、
本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

〈PCサイト〉http://www.mie-u.ac.jp/exam/

〈☎059-231-9063 (学務部入試チーム)〉

〈携帯電話サイト〉http://daigaku.jp/mie-u/



QRコード ↑

※対応する携帯電話で読み取ることができます。

2013オープンキャンパス

■ 8月7日 (水) 人文学部・生物資源学部

■ 8月8日 (木) 教育学部・医学部・工学部

◎内容◎ 各学部学科等紹介、入試説明、体験授業、研究室見学など

◎問い合わせ先◎ 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学学務部入試チーム / ☎059-231-9063オープンキャンパスに関する詳細は、本学ホームページ「入試情報」
にて決まり次お知らせします。

〈PCサイト〉http://www.mie-u.ac.jp/exam/

〈携帯電話サイト〉http://daigaku.jp/mie-u/



国際交流センターから

■伊藤達雄三重大学名誉教授外国人留学生助成金授与式
(2012.7.11)

本助成金は、2012年4月12日に伊藤達雄名誉教授より三重大学に寄附金が贈呈され、外国人留学生への助成金として役立てられることを目的に制定されました。授与式では、伊藤名誉教授から、「勉学に励み、成果を得て、国際社会で活躍してほしい。そのスタートラインに立つための助けとして役立てられることを望みます」との言葉が贈られました。



■第6回三重大学国際交流月間 (2012.12.1～2012.12.20)

今年度の本学における国際交流事業の集大成として、広く開かれた国際交流の場となることを目的として様々なイベントを開催しました。



2012.12.12「留学生カフェ」

■梅林正直三重大学名誉教授寄付金受領式 (2012.12.20)

梅林正直名誉教授は、長年にわたるタイ国での梅やライムの植樹活動が評価され、平成24年10月15日、新潟市において公益財団法人食の新潟国際賞財団が実施する「佐野藤三郎特別賞」を受賞されました。その副賞の一部を「梅林正直三重大学名誉教授タイ人留学生助成金」として、本学タイ人留学生のためにご寄付いただくことになりました。



男女共同参画講演会

■男女共同参画講演会 "Be Professional!"

～組織のなかで活かされる個性とチームワーク～ (2012.11.19)

環境・情報科学館1階において、(株)光機械製作所の西岡慶子社長による講演会 "Be Professional!" ～組織のなかで活かされる個性とチームワーク～が開催されました。西岡社長の女性企業家への歩みを学び、男女共同参画社会について考えました。



三重大学先端研究シンポジウム

■第8回三重大学先端研究シンポジウム

—社会に貢献する三重大学の先端研究— (2012.11.28)

都市センターホテル (東京都千代田区) において開催され、内田学長の挨拶のあと、(株)クラオンライン社長の家本賢太郎氏による特別講演及び「人に優しい先端研究」をテーマとして、本学教員による最新の研究活動と社会貢献活動の紹介がありました。



生物資源学研究科から

■シンポジウム「生物資源学研究の最前線

—持続可能な農林水産業をめざして—」 (2012.12.2)

生物資源学研究科が取り組んでいる最前線の研究テーマについて、紹介するシンポジウムを開催しました。



公開講座・シンポジウムなど

■伊賀連携フィールド開設記念イベント

■伊賀再発見! 伊賀忍者古文書講座

- ◎講師◎ 山田雄司 (人文学部・教授)
 - ◎日時◎ 平成25年1月15日 (火)、2月19日 (火)、3月19日 (火) 14:30～16:00
 - ◎会場◎ ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所 会議室
 - ◎受講料・定員◎ 3,000円 (全6回分)・20名
 - ◎対象者◎ 市民一般
 - ◎申込み・問い合わせ先◎ 上野商工会議所 山崎／☎0595-21-0527
- ※第1～3回は終了しました。

■伊賀再発見! 「忍者」に見る日本の文化・世界の文化
市民講座「忍者・忍術学講座:忍者とは何か」

- ◎会場◎ ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所 コミュニティ情報プラザホール
 - ◎受講料◎ 無料 ◎対象者◎ 市民一般
 - ◎問い合わせ先◎ 三重大学人文学部チーム
- 総務担当・森本／☎059-231-9194
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

第5回 テーマ「Ninjaになった日本の『忍者』」

- ◎講師◎ 井上稔浩 (人文学部・教授)
- ◎日時◎ 平成25年2月2日 (土) 10:30～12:00

第6回 テーマ「外国人の目から見た忍者」

- ◎講師◎ クバーソフ・フョードル (人文学部・留学生)
 - ◎日時◎ 平成25年3月23日 (土) 10:30～12:00
- ※第1～4回は終了しました。

■三重大学伊賀連携フィールド 公開トークイベント

「史実の魅力、小説の魅力 —忍者小説の新たな地平」

- ◎講師◎ 和田 竜 (作家)
 - 川上仁一 (伊賀流忍者博物館名誉館長・社会連携特任教授)
 - 山田雄司 (人文学部・教授)
 - ◎日時◎ 平成25年3月2日 (土) 13:00～15:00
 - ◎会場◎ ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所 コミュニティ情報プラザホール
 - ◎参加費◎ 無料 ◎参加方法◎ 予約不要
 - ◎問い合わせ先◎ 三重大学人文学部チーム
- 総務担当・森本／☎059-231-9194
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

■? 「発見塾」

- ◎受講料◎ 無料 ◎対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 津文化協会事務局／☎059-228-8398

■みんなでつくる津のまちづくり

- ◎講師◎ 松浦健治郎 (工学研究科・助教)
- ◎日時◎ 平成25年1月26日 (土) 13:30～15:00
- ◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■超高齢化社会が求める福祉ロボットの現状と課題

- ◎講師◎ 矢野賢一 (工学研究科・教授)
- ◎日時◎ 平成25年3月16日 (土) 13:30～15:00
- ◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■第4回 親&子どものサポートを考える会 講演会

- ◎日時◎ 平成25年2月17日 (日) 13:30～15:50 (開場13:00～)
 - ◎会場◎ 三重大学医学部 臨床第3講義室
 - ◎参加費◎ 無料 ◎対象者◎ 学生、一般市民
 - ◎問い合わせ先◎ 医学部看護学科
- 土田幸子 (助教)／☎059-231-5260

■2013年 アレルギー週間 市民公開講座

- ◎日時◎ 平成25年2月16日 (土) 13:00～15:00
- ◎会場◎ 三重大学医学部 臨床第2講義室
- ◎参加費◎ 無料
- ◎対象者◎ アレルギーに関心のある方ならどなたでも参加できます
- ◎問い合わせ先◎ 医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科／☎059-231-5028

「今からでもできる!花粉症対策」

- ◎講師◎ 増田佐和子 (三重病院 耳鼻咽喉科)
- ◎時間◎ 13:00～

「アトピー性皮膚炎について」

- ◎講師◎ 尾本陽一 (医学部附属病院 皮膚科・助教)
- ◎時間◎ 13:30～

「食物アレルギー：正しい診断法と最新治療」

- ◎講師◎ 近藤真理 (三重病院 小児科)
- ◎時間◎ 14:00～

「ぜんそくと上手につきあおう～これで納得!吸入療法～」

- ◎講師◎ 高木健裕 (医学部附属病院 呼吸器内科・医員)
- ◎時間◎ 14:30～

■三重大学教育学部美術教育コース卒業制作展2013

- ◎日時◎ 平成25年2月14日 (木)～2月17日 (日)
9:30～17:00 (最終日は15:00まで)
- ◎会場◎ 三重県立美術館1F 県民ギャラリー
- ◎参加費◎ 無料
- ◎対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ E-mail: bijyutuka.sotuten2013@gmail.com

■第11回三重大学産学官連携セミナーin伊賀

- ◎日時◎ 平成25年2月8日 (金) 13:30～ (受付13:00～)
 - ◎会場◎ ヒルホテル サンピア伊賀4階 白鳳の間
 - ◎参加費◎ 無料 (交流会は3,000円)
 - ◎対象者◎ 市民一般
 - ◎申込締切◎ 平成25年1月31日 (木)
 - ◎問い合わせ先◎ 三重大学伊賀研究拠点
- ☎0595-41-1071／FAX 0595-41-1062
E-mail: iga-kyoten@crc.mie-u.ac.jp

広報室から

■テレビ番組「きらめく群像～三重大学の財(たから)」を放送中!!

毎月、第四火曜日のお昼の12時から12時29分、三重テレビ第2チャンネル072で三重大学のテレビ番組「きらめく群像～三重大学の財(たから)」を放送しています。三重大学の教員を中心に三重大学の「今」を紹介します。1月のテーマは工学部です。是非ご覧ください。



看護師・助産師 募集



医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。
大病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、
お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

三重大学医学部附属病院看護部
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

FM三重で放送中!!

■～学生の企画するFMラジオ番組～

「Campus CUBE」

毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!

パーソナリティー募集!

対象は三重大生です!
ぜひご応募ください!

★応募先★
三重大学企画総務部総務チーム 広報室
TEL 059-231-9789



三重大えっくすは
ここに置いてあります!



三重大学附属病院／四日市フロント／みえ県民交流センター
(アスト津3F)／伊賀研究拠点／三重県庁／県内高校／県内市役
所・役場／県内図書館・公民館／県内関連病院／県内保健所／
三重県総合文化センター内／百五銀行／三重銀行／第三銀行
／紀南病院／eisu／名古屋市立図書館／津市東京事務所／
四日市市政策推進部東京事務所／
三重県東京事務所

近鉄主要駅

(津／江戸橋／桑名／四日市／白子／松阪
／伊勢市／宇治山田／五十鈴川／鳥羽
／伊賀神戸／桔梗が丘／名張／
上野市／青山町)



お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご送付(郵送、E-mail、FAX)願います。

三重大学振興基金事務局

【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000

E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp

URL: http://www.mie-u.ac.jp/foundation/

お問い合わせ先
〒郵送先

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

koho@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて…

三重大学オリジナル“えっくすくんわくわくシャーペン”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。

どしどしお寄せください。(先着100名)

*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



▼旧飯南郵便局



旧飯南郵便局和み

■開館日：金曜日
■開館時間：10:00～16:00
■入館料：無料
■TEL：090-5004-6916(館長)
■FAX：0598-23-4544

佐野翠香堂▶



▼深野のだんだん田



▶波多瀬橋



大石不動院のあたりから、街道は櫛田川に沿って蛇行していきます。今は国道一六六号線となった街道は地域の生命線、所々には対岸への橋が架かっています。波多瀬の橋は小豆色の鉄骨アーチ橋。この先、増水時には水面下に没する沈下橋やコンクリートアーチ橋など、様々な橋が見られます。

落ち着いた竹まいの家々が並ぶ柿野の中でも、一際重厚な表構えを見せるのは佐野翠香堂。漢方薬の老舗でした。ここから山側に入ると丹念に石を積み上げた田畑が連なります。幾重にも重なる石積が見事で、深野のだんだん田として日本の棚田百選に選ばれています。

続く横野は和歌山街道と、大和の長谷に通じる伊勢本街道が分岐する要衝で、飯南の中心地です。家並で目を引くのは、かつての飯南郵便局(国登録有形文化財)。昭和七年建築で、山間地には珍しい鉄筋コンクリート造の局舎は頼もしい存在でした。今は毎週金曜日に、様々な催しが行われて賑やかな場になります。

街道が、伊勢本街道と分かれるとその先は茶畑が拡がり、所々には材木が並ぶ風景が続きます。製茶や製材はこの地域の代表的な産業です。

飯高の中心地、宮前を越すあたりから谷は狭まり、街道や川の蛇行も目立つてきます。伊勢国最後の宿場が波瀬。勘定坂を登り切ると波瀬の町です。町の東端から見える櫛田川の景勝は、坂を登ってきた旅人を安堵させた事でしょう。

近くには林業家の本宅や旧本陣など、重厚な家々が並びます。ここまで来れば高見峠までもう一息。街道は次第に勾配を増し、曲がりくねっていきます。峠を越えれば大和の国で、街道も伊勢街道と呼び名が変わります。

三重大学大学院工学研究科教授
菅原 洋一



波瀬の家並



本誌お問い合わせ先

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000

ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>

E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

*ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.29

平成25年1月15日発行

●発行／三重大学広報委員会

●編集／三重大学広報室

●印刷／有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp

◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

和歌山街道 大石不動院く高見峠



入試情報

平成25年度 三重大学 個別学力検査

本学の一般入試は、学部・学科・課程等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」により入学者を募集する「分離分割方式」で実施します。

人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

実施日程

	前期日程	後期日程
出願期間 (郵送に限ります)	平成25年 1月28日(月)～2月6日(水) (必着)	
個別学力検査 等の日程	平成25年 2月25日(月) 〈医学部は2月26日(火)も実施〉	平成25年 3月12日(火)
合格者発表	平成25年 3月8日(金) 午前10時頃	平成25年 3月23日(土) 午前10時頃

- ◎「三重大学学生募集要項(一般入試)」は、本学学務部入試チームにて配付しています。
- ◎「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、
本学ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>
「入試情報」をご覧ください。
(TEL.059-231-9063(学務部入試チーム))

携帯電話サイト

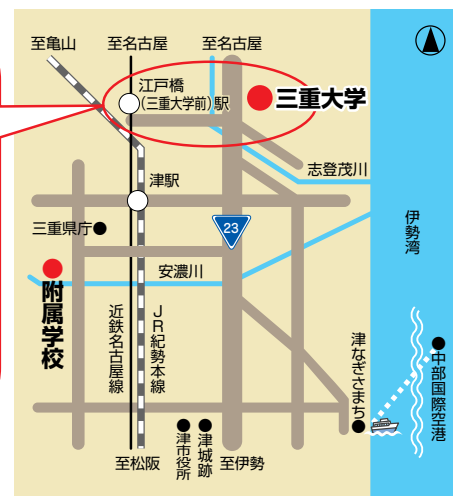
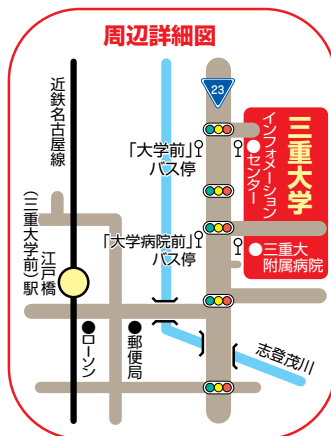
募集要項等の請求方法、志願状況速報などの各種情報を
携帯電話にて閲覧することができます。

アドレス <http://daigakuic.jp/mie-u/>



← QRコード
※対応する携帯電話で
読み取ることができます。

平成25年度大学入試センター試験：平成25年 1月19日(土)・1月20日(日)



交通のご案内

- 近鉄江尾橋(三重大前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重大病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から
津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
2. 津なぎさまちからタクシーで三重大まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

